漁港は
魚の保育園
http://www.gyokou.or.jp/

漁港漁場月報

平成29年4月15日　発行
毎月　1回15日発行
編集兼発行人　公益社団法人　全国漁港漁場協会
橋本　牧
東京都港区赤坂1－9－13三会堂ビル8階
電話　東京（5114）9981
定価　1部　70円
（会員の購読料は会費の中に含む）

新たな「漁港漁場整備長期計画」を閣議決定

取り組むべき課題を明確化

新たな漁港漁場整備長期計画（平成29～33年度）

漁港漁場整備長期計画の基本的な考え方

○　世界的な水産物需要の増加、地球温暖化に伴う気候変動、自然災害の激甚化、本格的な人口減少社会の到来など現下の水産業をとりまく情勢に的確に対応するため、重点的に取り組むべき課題を明確化

○　水産基本計画との連携の下、水産物の輸出促進や国土強靱化、まち・ひと・しごとの創生など新たな政府課題への対応と歩調をあわせ、漁港・漁場・漁村の総合的な整備を推進

○　国民にわかりやすい成果目標・整備目標と事業量を設定しつつ、漁港漁場施設の管理の高度化などの新たな手法を取り入れ、事業の効率性や実効性を確保

重点課題と実施の目標

漁港漁場整備基本方針に即して、今後５年間（平成29～33年度）に以下の課題に重点的に取り組む

＜重点課題１＞ 水産業の競争力強化と輸出促進

◆ 品質や付加価値の向上、生産の効率化やコスト縮減、産地の価格形成能力の向上に資する漁港の生産・流通機能を強化

◆ 国内への安定的な水産物供給とともに、輸出先国のニーズに対応した生産・流通体制を確保

＜重点課題２＞ 豊かな生態系の創造と海域の生産力向上

◆ 水産生物の生活史に配慮した広域的な水産環境整備を実施

◆ 広域的な藻場・干潟の衰退要因等の把握とハード・ソフト対策を組み合わせた回復対策を実施

◆ 海水温上昇等に対応した漁場整備への取組

◆ 資源管理と併せた沖合域の漁場整備を推進

＜重点課題３＞ 大規模自然災害に備えた対応力強化

◆ 東日本大震災からの復旧・復興を総仕上げ

◆ 災害時の救援活動、物資輸送等の拠点を整備

◆ 被災後の水産業の早期回復のための拠点を整備

◆ 台風・低気圧災害に備えた施設の耐波性能を向上

＜重点課題４＞ 漁港ストックの最大限の活用と漁村のにぎわいの創出

◆ 漁業所得の向上を通じた地域水産業の活性化、都市住民や外国人観光客等による漁村への訪問を推進

◆ 女性・高齢者等にとって住みやすく働きやすい漁村づくりを推進

◆ 施設の長寿命化対策による漁港機能の維持・保全を計画的に推進

◆ 漁港ストックの有効活用を推進

漁港漁場施設の管理の高度化（ＩＣＴを活用した漁港漁場施設の管理や機能保全の効率化など）

目指す主な成果・事業量

水産基盤整備における課題に的確に対応する観点から、計画期間に係る漁港漁場整備事業の実施の目標及び事業量を定め、漁港・漁場・漁村の整備を総合的かつ計画的に実施

政府は、3月28日に新たな漁港漁場整備長期計画を閣議決定し、平成29年度から33年度までの5年間における水産基盤整備の方向性を示し、取り組むべき課題を明確化した。

漁港漁場整備長期計画は、漁港漁場整備法（昭和25年法律第一三七号）第6条の3の規定に基づき、漁港漁場整備事業を総合的かつ計画的に実施するために、5年を一期として策定されている。

新たな計画では今後5年間に重点的に取り組む課題を次の四つに明確化するとともに、目指すべき主な成果及び必要となる事業量を設定し、計画的に漁港漁場整備事業を推進することとした。

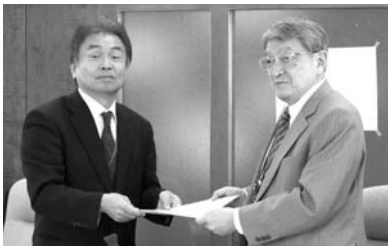
○水産業の競争力強化と輸出促進
・品質や付加価値の向上、生産の効率化やコスト削減、産地の価格形成能力の向上に資する漁港の生産・流通機能を強化
・国内への安定的な水産物供給とともに、輸出先国のニーズに対応した生産・流通体制を確保
○豊かな生態系の創造と海域の生産力向上
・水産生物の生活史に配慮した広域的な水産環境整備を実施
・広域的な藻場・干潟の衰退要因等の把握とハード・ソフト対策を組み合わせた回復対策を実施
・海水温上昇等に対応した漁場整備への取組
・資源管理と併せた沖合域の漁場整備を推進
○大規模自然災害に備えた対応力強化
・東日本大震災からの復旧・復興を総仕上げ
・災害時の救援活動、物資輸送等の拠点を整備
・被災後の水産業の早期回復のための拠点を整備
・台風、低気圧災害に備えた施設の耐波性能を向上
○漁港ストックの最大限の活用と漁村のにぎわいの創出
・漁業所得の向上を通じた地域水産業の活性化・都市住民や外国人観光客等による漁村への訪問を推進
・女性・高齢者等にとって住みやすく働きやすい漁村づくりを推進
・施設の長寿命化対策による漁港機能の維持・保全を計画的に推進
・漁港ストックの有効活用を推進

以上の4課題の共通事項として、「漁港漁場施設の管理の高度化」が掲げられており、ICT（情報通信技術）を活用した漁港施設や漁場の管理の高度化を推進するため、漁港施設情報の集約・電子化やICTを活用した漁港施設の機能保全の効率化、藻場・干潟等漁場環境情報の電子化、漁場管理の効率化等に取り組むこととしている。

また、これらの課題毎に達成目標が設定されている。これまでの長期計画では長期計画の達成目標は成果目標（アウトカム）だけであったが、行政事業レビューの指摘があり、よりわかりやすい目標とするために整備目標（アウトプット）も設定された。更にこの目標を達成するために課題毎に必要となる事業量が設定されている（次ページの表を参照）。

今後、新たな漁港漁場整備長期計画について地方での説明が行われるとともに、地方公共団体等が個別地区の特定漁港漁場整備事業計画等を策定し、長期計画の目標に沿った個別地区の事業が実施される。

水産政策審議会 漁港漁場整備分科会開催



岡部長（左側）に答申を手渡す中田分科会長
（写真：水産経済新聞社）

農林水産大臣の諮問機関である「水産政策審議会第40回漁港漁場整備分科会」が3月16日（木）に農林水産省会議室で開催され、昨年7月3日の第28回分科会において「漁港漁場整備基本方針の変更及び漁港漁場整備長期計画の策定について」が諮問され、その後、5回の議論を重ねて今回の答申が行われた。

答申は、馬場治水産政策審議会長名で、山本有二農林水産大臣に対して行われ、中田英昭分科会長から代理の岡貞行水産庁漁港漁場整備部長に答申が手渡された。

また、平行して議論していた「漁港漁場整備事業の推進に関する基本方針」は、漁港漁場整備長期計画の柱となる①事業の推進に関する基本的な方向、②事業の効率的な実施、③施工上必要とされる技術的指針④事業の推進に際し配慮すべき環境との調和⑤その他事業推進に関する重要事項が明記されている。

この基本方針は、長期計画とともに閣議決定されることが報告された。

水産政策審議会企画部会開催

農林水産大臣の諮問機関である「水産政策審議会第70回企画部会」が4月6日（木）に農林水産省会議室で開催され、平成28年度水産の動向（水産白書）と次期水産基本計画の検討が行われた。

平成28年度水産白書には、世界とつながる我が国の漁業～国際的な水産資源の持続的利用を考える～が特集に組まれ、その他に平成27年度以降の我が国の水産の動向等が記載される。今後、国会へ年次報告されたものが公表・刊行される予定。

また、次期水産基本計画については、①水産に関する施策についての基本的な方針、②水産に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策、③水産物の自給率目標、④水産に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項が盛り込まれる予定であり、今後更に部会での検討が行われ、水産基本法の規定に基づき国会に報告される予定となっている。

新たな漁港漁場整備長期計画の目標と事業量

重点課題　今後５年間に重点的に取り組むべき課題

水産業の競争力強化と輸出促進	豊かな生態系の創造と海域の生産力向上	大規模自然災害に備えた対応力強化	漁港ストックの最大限の活用と漁村のにぎわいの創出

成果目標　整備目標

水産業の競争力強化と輸出促進	豊かな生態系の創造と海域の生産力向上	大規模自然災害に備えた対応力強化	漁港ストックの最大限の活用と漁村のにぎわいの創出
□ 流通拠点漁港で取り扱われる水産物のうち、新たに品質の向上や出荷の安定が図られた水産物の取扱量の割合　５年間でおおむね50% □ 流通・輸出拠点漁港のうち、新たに輸出を拡大させる漁港数　５年間でおおむね60漁港	□ 水産資源の回復や生産力の向上のための漁場再生及び新規漁場整備による水産物の増産量　５年間でおおむね８万トン	□ 地震・津波に対する防災機能の強化対策が講じられた漁村の人口割合　48%（H27）⇒おおむね60%（H33） □ 流通拠点漁港のうち、災害発生時における水産業の早期回復体制が構築された漁港の割合　０%（H28）⇒おおむね80%（H38）　当面おおむね30%（H33）	□ 都市漁村交流人口の増加数　５年間でおおむね100万人 □ 老朽化に対して施設の安全性が確保された漁港の割合　66%（H28）⇒おおむね100%（H33）
□ 流通・輸出拠点漁港のうち、水産物の高度な衛生管理体制が構築された漁港の割合　24%（H28）⇒おおむね50%（H33） □ 流通拠点漁港のうち、大型漁船の円滑な利用を可能にする等により陸揚げ能力を向上させる漁港数　５年間でおおむね20漁港	□ 水産生物の生活史に対応した良好な生息環境空間を創出する整備海域数　５年間でおおむね25海域 □ 藻場・干潟が衰退している海域のうち、総合的な回復対策を行う海域数（海域の割合）　５年間でおおむね75海域（100%）	□ 防災拠点漁港のうち、地震・津波に対する主要施設の安全性が確保された漁港の割合　７%（H28）⇒おおむね80%（H38）　当面おおむね30%（H33） □ 流通拠点漁港のうち、地震・津波に対する主要施設の安全性が確保された漁港の割合　５%（H28）⇒おおむね80%（H38）　当面おおむね30%（H33）	□ 漁業集落排水処理施設が整備された漁村の人口割合　65%（H27）⇒おおむね80%（H33） □ 流通拠点漁港及び生産拠点漁港のうち、就労環境を改善した漁港の割合　51%（H28）⇒おおむね60%（H33） □ 緊急的に老朽化対策が必要な漁港のうち、対策を実施する漁港の割合　５年間でおおむね100%

事業量

水産業の競争力強化と輸出促進	豊かな生態系の創造と海域の生産力向上	大規模自然災害に備えた対応力強化	漁港ストックの最大限の活用と漁村のにぎわいの創出
➢ 流通拠点漁港における整備漁港数（おおむね90漁港） ➢ 地域の中核的な生産活動等が行われる整備地区数（おおむね150地区）	➢ 魚礁や増養殖場の整備（おおむね５万ha） ➢ 漁場の効用回復に資する堆積物除去等の実施（おおむね15万ha） ➢ 藻場・干潟の造成（おおむね7,000ha）	➢ 漁村における防災機能の強化のための整備（おおむね300地区） ➢ 流通拠点漁港における主要施設の耐震・耐津波化のための整備（おおむね70漁港） ➢ 流通拠点漁港における事業継続計画（ＢＣＰ）等の策定（おおむね150漁港）	➢ 漁村への訪問者増加に資する施設の整備（おおむね100地区） ➢ 漁業集落排水処理施設の整備（おおむね200地区） ➢ 就労環境改善対策のための整備（おおむね80漁港） ➢ 漁港ストックの有効活用に資する取組（おおむね50地区） ➢ 緊急性の高い機能保全対策の実施（おおむね400漁港） ➢ 漁港施設情報の集約・電子化の実施（おおむね900漁港）

平成28年度 漁港漁場講習会開催
～全国漁港漁場協会～

（公社）全国漁港漁場協会は、3月16日（木）午前10時より、東京都港区の石垣記念ホールにおいて、平成28年度漁港漁場講習会を開催した。

冒頭、主催者である（公社）全国漁港漁場協会橋本牧会長が「年度末のお忙しい中をご参加頂き、また、日頃から当協会の活動にご協力頂いており感謝します。この講習会は、当協会が漁港漁場協会となり開始してから50回目を迎える。講習会のテーマは、都道府県や市町村の実務を担当される皆様にとって、できるだけ新しい、役に立つものをその都度、選定してきた。短い時間ではあるが、本日の講習会の内容を持ち帰り現場での業務に活用して頂きたい。」との挨拶があった。次に、来賓の水産庁岡貞行漁港漁場整備部長から、「本日ご参会の皆様には、日頃から全国各地において、漁港漁場漁村の整備にご尽力を賜わり、心よりお礼申し上げます。

また、本講習会を主催する公益社団法人全国漁港漁場協会に感謝します。

現在水産庁では、水産大国にっぽんの復活のために全庁一丸となって様々な対策を講じている。この様な中で今後の水産施策の道しるべとなる「水産基本計画」、また、漁港漁場整備の基本となる「次期長期計画」の改定作業を進めている。

講習会で挨拶する岡漁港漁場整備部長

後ほど担当から説明させていただく長期計画では、現在4つの重点課題を設定しようと考えている。一つ目は水産業の競争力強化と輸出の促進に対応した漁港整備、例えば衛生管理対策などである。2点目は我が国周辺の資源状況が厳しいということで、漁場の生産力の向上を図るということ。それから東日本大震災の経験を踏まえ、地震・津波に対する対応力。更に、近年台風、低気圧等が激甚化していることへの対応。4つ目が漁村を元気にすること。この4つを基本テーマに、年度内の閣議決定に向けて最終の調整をしている。

また、次年度の予算については、現在国会審議中であり、水産基盤整備予算として700億円を確保できる見込み。その他復興庁計上となる約550億円、さらに交付金100億円。そういった予算が確保できる見込みである。今後これら予算を有効に活用し、全国の漁港漁場整備に取組むこととしているが、これら予算を効率的・効果的に執行していくには皆様のご支援が大変重要となる。一日の講義で大変ではあるが、関心のある所を中心に情報収集に努め、今後の水産基盤整備事業の円滑な推進にご支援を賜わりたい。」との挨拶があった。

講習会は、約八十名が参加し、それぞれの講師からパワーポイントを用いた分かり易い説明が行われた。

講義内容と講師は次の通り。（敬称略）

○新たな漁港漁場整備長期計画（案）の考え方と対策の解説と事例：（一社）漁港漁場新技術研究会リニューアル研究部会　吉田　倫夫

○人工基質を用いた磯焼け対策：（一社）漁港漁場新技術研究会沿岸域環境保全専門部会座長　綿貫　啓

○漁業地域における生産・流通に関する事業継続計画（ＢＣＰ）：水産庁漁港漁場整備部計画課計画官　河野　大輔

○漁港等における情報基盤の整備と活用及び津波漂流物対策施設設計ガイドライン（案）：水産庁漁港漁場整備部整備課課長補佐　朝倉　邦友

○増養殖対策関係予算の概要：水産庁増殖推進部栽培養殖課課長補佐　長谷川　裕康

○作業船位置・回航情報システム等漁港漁場整備における１Ｔ技術の利活用について：（一社）全日本漁港建設協会会長　長野　章

○漁港台帳等の情報のデータ化（漁港情報クラウドシステム）：（公社）全国漁港漁場協会会長　橋本　牧

○鋼構造物に関する保全計画課課長補佐　中村隆

平成29年度予算概算決定
水産基盤整備事業の概要：水産庁漁港漁場整備部

第15回 聞き書き甲子園フォーラム開催
『未来をひらく「聞き書き」の力』テーマに

聞き書き甲子園実行委員会は、3月18日（土）午後1時30分より、東京都文京区の東京大学弥生講堂一条ホールにおいて、『未来をひらく「聞き書き」の力』をテーマに第15回聞き書き甲子園フォーラムを開催した。

フォーラムは、聞き書き甲子園実行委員会委員長、林野庁次長による主催者挨拶で開会し、森の名手・名人の代表である、遠山サキ氏、村上賢助氏に、公益社団法人国土緑化推進機構理事長名定証が、海・川の名人の代表である、平井善正氏に、公益社団法人全国漁港漁場協会会長名の海の名人認定証が授与された。

真珠貝養殖について語る平井善正氏（長崎県対馬市）

その後、作文選考委員会委員長で作家でもある塩野米松氏より、優秀作品賞、優秀写真賞の授与が、実行委員会委員長より代表高校生への修了証書の授与が行われた。

引き続き、文筆家の阿川佐和子氏による「聞き書き甲子園と私」と題した記念講演が行われた。

その後、塩野氏及び聞き書き甲子園ＯＧの大山朱音さんの司会により、名人と高校生の体験談の紹介が行われた。

○原田若奈さん&遠山サキ名人（北海道：アイヌの森の名人認定）

○藤田櫻子さん&平井善正名人（長崎県：漁師「アコヤ貝、真珠貝養殖」）

○大井川聖心さん&村上賢助名人（秋田県：茅屋根葺き）

聞き書き甲子園に参加した高校生の作品は、今後印刷物として取りまとめることとなっており、完成次第都道府県の漁港漁場協会にも発送されることとなっている。

なお、平成29年度も、第16回聞き書き甲子園、それに伴う「海の名人」が選定される予定であり、都道府県の漁港漁場協会に対し、名人の推薦についての協力が要請されている。

水産庁人事異動

（三月三十日）
退職国立研究開発法人水産研究・教育機構経営企画部付へ（計画課計画官）藤橋孝

（三月三十一日）
定年退職（防災漁村課都市漁村交流専門官）村上邦宏▽退職国立研究開発法人水産研究・教育機構水産工学研究所水産工学部主幹研究員へ（整備課漁港漁場専門官）梅津啓史▽退職独立行政法人都市再生機構西日本支社都市再生業務部まちづくり支援室まちづくり支援第2課主幹へ（整備課漁港漁場専門官）片石圭介▽退職北海道オホーツク総合振興局産業振興部水産課主査へ（計画課調査班特定調査調整係長）津田藤典▽退職岩手県農林水産部漁港漁村課主任へ（整備課施工積算班積算基準係長）冨手俊夫▽退職岩手県沿岸広域振興局水産部技師へ（計画課）鈴木航▽退職高知県水産振興部漁港漁場課主幹へ（防災漁村課漁村企画班企画係長）渡邊則仁▽退職長崎県水産部参事監へ（計画課長補佐・事業班担当）中村隆

（四月一日）
【漁港漁場整備部への転入】
◇計画課へ
課長補佐・計画班担当（国立研究開発法人水産研究・教育機構水産工学研究所水産工学部主幹研究員）梅津啓史▽企画班企画係長（岩手県沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター主任）薄衣真一朗▽施工積算班施工積算係長（高知県水産振興部漁港漁場課主査）澤田真希▽整備課付（資源管理部管理課沿岸資源管理推進班企画調整係長）市川久光
◇防災漁村課へ
課長補佐・総括班担当（長崎県水産部参事監）横山純▽課長補佐・構造改善施設班担当（漁政部漁政課長補佐・広報班担当）坂内裕▽施設管理指導官（資源管理部管理課（独立行政法人都市再生機構宮城・福島震災復興支援本部復興支援リーダー）堀越伸幸▽課長補佐・総括班担当（独立行政法人農林漁業信用基金漁業管理・融資室業務推進課長）犬塚良一▽課長補佐・施工積算班担当（国土交通省港湾局技術企画課付）佐渡英樹▽課長補佐・調整班担当（内閣府沖縄総合事務局林務水産課長）冨田智明▽漁港漁場専門官（漁政部加工流通課長補佐・水産物安全推進）佐藤三男▽漁港漁場専門官（計画課付一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所第一調査研究部長）西崎孝之▽漁港漁場専門官（国土交通省北海道局農林水産課開発専門官）藤田智輝▽企画班企画係長（岩手県沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター主任）薄衣真一朗▽施工積算班施工積算係長（高知県水産振興部漁港漁場課主査）澤田真希▽整備課付（資源管理部管理課沿岸資源管理推進班企画調整係長）市川久光
◇防災漁村課へ
課長補佐・総括班担当（長崎県水産部参事監）横山純▽課長補佐・構造改善施設班担当（漁政部漁政課長補佐・広報班担当）坂内裕▽施設管理指導官（資源管理部管理課（独立行政法人都市再生機構宮城・福島震災復興支援本部復興支援リーダー）堀越伸幸▽課長補佐・総括班担当（独立行政法人農林漁業信用基金漁業管理・融資室業務推進課長）犬塚良一▽課長補佐・施工積算班担当（国土交通省港湾局技術企画課付）佐渡英樹▽課長補佐・調整班担当（内閣府沖縄総合事務局林務水産課長）冨田智明▽漁港漁場専門官（漁政部加工流通課長補佐・水産物安全推進）佐藤三男▽漁港漁場専門官（計画課付一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所第一調査研究部長）西崎孝之▽漁港漁場専門官（国土交通省北海道局農林水産課開発専門官）藤田智輝▽企画班企画係長（岩手県沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター主任）薄衣真一朗▽施工積算班施工積算係長（高知県水産振興部漁港漁場課主査）澤田真希▽整備課付（資源管理部管理課沿岸資源管理推進班企画調整係長）市川久光
◇防災漁村課へ
課長補佐・総括班担当（長崎県水産部参事監）横山純▽課長補佐・構造改善施設班担当（漁政部漁政課長補佐・広報班担当）坂内裕▽施設管理指導官（資源管理部管理課（独立行政法人都市再生機構宮城・福島震災復興支援本部復興支援リーダー）堀越伸幸▽課長補佐・総括班担当（独立行政法人農林漁業信用基金漁業管理・融資室業務推進課長）犬塚良一▽課長補佐・施工積算班担当（国土交通省港湾局技術企画課付）佐渡英樹▽課長補佐・調整班担当（内閣府沖縄総合事務局林務水産課長）冨田智明▽漁港漁場専門官（漁政部加工流通課長補佐・水産物安全推進）佐藤三男▽漁港漁場専門官（計画課付一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所第一調査研究部長）西崎孝之▽漁港漁場専門官（国土交通省北海道局農林水産課開発専門官）藤田智輝▽企画班企画係長（岩手県沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター主任）薄衣真一朗▽施工積算班施工積算係長（高知県水産振興部漁港漁場課主査）澤田真希▽整備課付（資源管理部管理課沿岸資源管理推進班企画調整係長）市川久光
◇新規採用
計画課英大智▽計画課戸瀬憲人▽整備課水場信人▽整備課井手努

【漁港漁場整備部内の異動】
◇計画課
課長補佐・事業班担当（計画課長補佐・計画班担当）内田智▽課長補佐・調査班担当（整備課長補佐・設計班担当）朝倉邦友▽計画班計画係長（整備課調整班事業調整係長）藪木昭彦▽事業班地域整備係長（防災漁村課災害調整班災害復旧企画係長）謝花喜登▽調査班調査企画係長（利用調整班利用調整係長）戸倉晶
◇整備課
課長補佐・設計班担当（漁港漁場専門官）不動雅之▽漁港漁場専門官（防災漁村課災害査定官）野神巧一▽調整班事業調整係長（施工積算班施工基準係長）成田賢仁
◇防災漁村課
課長補佐・海岸班担当（整備課漁港漁場専門官）粕谷泉▽課長補佐・漁村企画班担当（防災漁村課施設管理指導官）佐藤茂▽災害査定官（整備課長補佐・整備班担当）佐野文敏▽災害査定官（防災漁村課付）安田大樹▽災害調整班災害復旧企画係長（計画課事業班地域整備係長）正岡克洋

【漁港漁場整備部外への転出】
◇計画課から
漁政部漁政課会計班会計第2係長（管理班管理係長）世並優一▽漁政部加工流通課貿易第1班輸入業務係長（総括班調整係長）飯倉宏美▽計画課付一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所第一調査研究部長（課長補佐・調査班担当）高原裕一▽農林水産省出向食料産業局輸出促進課戦略実行班戦略実行第2係長へ（総括班企画法令係長）遠藤諭▽農林水産省出向経営局協同組織課組織・調査班組織第1係長へ（計画班計画係長）南條侑子
◇整備課から
漁政部漁政課船舶管理室長（課長補佐・総括班担当）佐々木亨▽増殖推進部栽培養殖課長補佐・栽培漁業企画班担当（漁場環境情報分析官）加藤英雄▽整備課付一般社団法人水産土木建設技術センター水産基盤総合技術研究所調査研究部上席研究員（岩手県農林水産部漁港漁村課主任）木村智司▽復興事務官・統括官付参事官付参事官補佐（課長補佐・海岸班担当）米山正樹▽漁政部漁政課統計班担当へ（課長補佐・調整班担当）西部博秀▽国土交通省出向港湾局技術企画課長補佐へ（課長補佐・施工積算班担当）鴫原茂
◇防災漁村課から
漁政部水産経営課指導室長（課長補佐・総括班担当）上野光浩▽漁政部漁政課長補佐・主計班担当（課長補佐・漁村企画班担当）小幡浩一▽資源管理部管理課漁業監督指導官（課長補佐・構造改善施設班担当）望月喜多司▽復興事務官・統括官付参事官付参事官補佐（課長補佐・海岸班担当）米山正樹▽漁政部漁政課主計班予算総括係長（総括班企画法令係長）海老原学▽漁政部漁政課（防災漁村課）久永祐太朗▽農林水産省出向大臣官房予算課予算監視班予算監視第1係長へ（環境整備班計画係長）中山寿志▽農林水産省出向食料産業局食品製造課へ（防災漁村課）三島康郎▽農林水産省出向九州農政局肝属中部農業水利事業所技術専門官へ（災害査定官）中釜利浩▽国土交通省出向北海道局農林水産課開発専門官へ（災害査定官）志田悟▽沿岸広域振興局副局長・宮古市駐在（総務部税務課総括課長）小畑真▽沿岸広域振興局副局長・大船渡駐在（県北広域振興局土木部長）桐野敏▽農林水産部水産振興課漁業調整課長（農林水産部水産振興課技術主幹）中井一広▽農林水産部漁港漁村課総括課長）阿部幸樹▽農林水産部漁港漁村課漁港課長）阿部幸樹▽農林水産部漁港漁村課漁港課長（沿岸広域振興局農林部農林調整課長）佐々木剛▽沿岸広域振興局水産部漁港課長（岩手海区漁業調整委員会事務局長）阿部繁弘▽沿岸広域振興局水産部技術主幹漁港管理課長（沿岸広域振興局水産部宮古水産振興センター特命課長）畠山安広▽農林水産部漁港漁村課農林建設課長）千田拓洋▽農林水産部漁港漁村課特命課長（盛岡広域振興局農政部農村整備室主任退職（沿岸広域振興局水産部漁港管理課長）佐藤裕保

都道府県人事異動
～各都道府県本所課長級以上～

人事異動（四月一日付及び三月三十一日）

【北海道】
水産林務部長（檜山振興局長）幡宮輝雄▽水産林務部次長（総合政策部政策局研究法人室長）飯田孝二
退職（水産林務部長）小野寺勝広▽退職（水産林務部次長）飛田康彦

【青森県】
農林水産部水産局漁港漁場整備課長（中南地域県民局地域農林水産部次長）駒井裕治▽東青地域県民局地域農林水産部東青地方漁港漁場整備事務所管理課長（三八地域県民局地域農林水産部三八地方漁港漁場整備事務所管理課長）山下清則▽東青地域県民局地域農林水産部東青地方漁港漁場整備事務所建設課長（商工政策課主幹）山本正仁▽三八地域県民局地域農林水産局漁港漁場整備課長）佐藤雅彦▽三八地域県民局地域農林水産部三八地方漁港漁場整備事務所管理課長（農林水産部水産局漁港漁場整備課長）大久保啓明▽下北地域県民局地域農林水産部下北地方漁港漁場整備事務所管理課長（下北地域県民局地域農林水産部下北地方漁港漁場整備事務所主幹）道場光浩▽下北地域県民局地域農林水産部下北地方漁港漁場整備事務所総括主幹・管理課長事務取扱（農林水産部農林水産政策課主幹・平内町駐在・産業技術センター派遣）小村光雄▽下北地域県民局地域農林水産部下北地方漁港漁場整備事務所計画指導課長（下北地域県民局地域農林水産部下北地方漁港漁場整備事務所建設課長）米澤健二▽会計管理者（下北地域県民局長）神重則

【岩手県】
退職（下北地域県民局地域農林水産部下北地方漁港漁場整備事務所長）熊沢正樹
政策地域部副部長地域振興室長台風災害復旧復興推進室長（沿岸広域振興局副局長・宮古駐在）鈴木敦▽農林水産部水産部長）伊藤克宏▽農林水産部漁港担当技監（農林水産部漁港担当技術主幹）中井一広▽農林水産部漁港漁村課総括課長（沿岸広域振興局水産部漁港担当技監（農林水産部漁港担当技術主幹）中井一広▽農林水産部漁港漁村課総括課長）志田悟▽沿岸広域振興局副局長・宮古市駐在（総務部税務課総括課長）小畑真▽沿岸広域振興局副局長・大船渡駐在（県北広域振興局土木部長）桐野敏▽農林水産部水産振興課漁業調整課長（農林水産部水産振興課技術主幹）中井一広▽農林水産部漁港漁村課総括課長）阿部幸樹▽農林水産部漁港漁村課漁港課長）阿部幸樹▽農林水産部漁港漁村課漁港課長（沿岸広域振興局農林部農林調整課長）佐々木剛▽沿岸広域振興局水産部漁港課長（岩手海区漁業調整委員会事務局長）阿部繁弘▽沿岸広域振興局水産部技術主幹漁港管理課長（沿岸広域振興局水産部宮古水産振興センター特命課長）畠山安広▽農林水産部漁港漁村課農林建設課長）千田拓洋▽農林水産部漁港漁村課特命課長（盛岡広域振興局農政部農村整備室主任退職（沿岸広域振興局農林水産部長（監査委員事務局長）武藤伸子▽農林水産部次長（北部保健福祉事務所栗原地域事務所長）佐藤達哉▽農林水産部次長・技術担当）冨田安広▽農林水産部漁港復興推進室長）梅本和彦▽漁港復興推進室長（東部地方振興事務所水産漁港部漁港整備専門監）小林和重▽環境生活部長（農林水産部長）後藤康宏▽北部地方振興事務所栗原地域事務所長（農林水産部次長）宮川耕一
退職（農林水産部次長・技術担当）伊藤一彦

【宮城県】

【山形県】
農林水産部水産振興課長（庄内総合支庁産業経済部地域産業経済課長）斎藤貴▽庄内総合支庁産業経済部次長兼水産振興課長（農林水産部水産振興課水産技術主幹）桂和彦▽庄内総合支庁産業経済部水産振興課漁港整備課長補佐）阿部哲夫
退職（庄内総合支庁産業経済部次長兼水産振興課長）大井明彦

【新潟県】
農林水産部水産課長（水産海洋研究所長）丸山克彦▽農林水産部漁港課長（上越地域振興局妙高砂防事務所長）町屋悟▽水産海洋研究所長（農林水産部参事・水産課長）藤田利昭
退職（農林水産部漁港課長）樫内睦夫

【富山県】
農林水産部次長（農林水産部参事農林水産企画課長）中谷仁▽水産漁港課主幹・課長補佐漁港係長（高岡土木センター主幹）加藤陽一▽首都圏本部長（農林水産部次長）河村幹治▽都市計画課新幹線・駅周辺整備班長）水産漁港課主幹・課長補佐漁港係長）坂井禎

【石川県】
農林水産部次長兼水産課長兼農業参入・経営戦略推進室次長兼里山振興室次長兼健康福祉部食品安全対策室次長（水産庁漁政部加工流通課長補佐・総括班担当）山下信▽農林水産部水産課漁港漁村整備室長（中能登土木総合事務所羽咋土木事務所長）浅村精一▽土木部砂防課長兼危機管理監室危機対策課担当課長（農林水産部水産課漁港漁村整備室長）藤本康司
退職（農林水産部次長兼水産課長兼農業参入・経営戦略推進室次長兼里山振興室次長兼健康福祉部食品安全対策室次長）岩本泰明

（4面に続く）

都道府県人事異動

（3面の続き）

【茨城県】

農林水産部長（総務部次長兼行財政改革・地方分権推進室長）櫛田浩司▽農林水産部次長（農林水産省消費・安全局総務課長補佐・総括）今野憲太郎▽農林水産部水産振興課長（霞ヶ浦北浦水産事務所長）清水信宏▽土木部長（土木部技監・総括）富永幸一▽土木部次長（国体・障害者スポーツ大会局次長）小澤正哉▽土木部技監・総括（土木部技監兼検査指導課長）古平祐次▽土木部港湾課長（茨城港湾事務所長）二川浩▽農林水産省大臣官房国際部国際経済課上席国際交渉官（農林水産部長）井上計▽理事兼政策審議監（農林水産部次長）齋藤章▽土浦土木事務所長（土木部技監兼港湾課長）小杉俊一

退職（土木部長）澤田勝▽退職（土木部次長）嶋田一郎▽退職（農林水産部水産振興課長）太田牧人

【千葉県】

農林水産部水産局長（水産総合研究センター長）山﨑明人▽農林水産部水産局水産課長（農林水産部水産局漁業資源課長）根本均▽農林水産部水産局漁業資源課長（千葉海区漁業調整委員会事務局副技監）立岡大助▽水産総合研究センター長（農林水産部水産局水産課長）佐藤喜雄

【神奈川県】

環境農政局農政部水産課長（水産技術センター栽培推進部長）滝口直之▽環境農政局農政部水産課水産振興担当課長（水産技術センター相模湾試験場長）山本章太郎

退職（環境農政局農政部水産課長）前川千尋

【静岡県】

交通基盤部港湾局漁港整備課長（沼津土木事務所技監修善寺支所長）古屋徹之

退職（交通基盤部港湾局漁港整備課長）宮崎良一

【三重県】

農林水産部長（健康福祉部子ども・家庭局長）岡村昌和▽農林水産部次長（農林水産部水産資源課長）永濵亨

退職（農林水産部長）吉仲繁樹▽退職（農林水産部次長）藤吉利彦

【滋賀県】

農政水産部次長（商工政策課長）浅見裕見子▽農政水産部技監・琵琶湖固有資源回復担当・水産課長事務取扱（水産課長）澤田宣雄▽水産課主席参事・南湖再生担当（水産課参事）二宮浩司▽監査委員事務局長（農政水産部次長）千代博

【大阪府】

環境農林水産部長（府民文化部都市魅力創造局長）竹柴清二

退職（環境農林水産部長）石川晴久

【和歌山県】

農林水産部水産局長（農林水産部農業生産局長）三浦源吾▽水産局水産振興課副課長（水産局資源管理課副課長）岩橋恵洋▽水産局水産振興課主幹（教育委員会事務局課長補佐兼班長）宮田雅之▽県土整備部港湾空港局長（港湾空港局港湾漁港整備課長）浅見尚史▽港湾空港局港湾漁港整備課長（港湾空港局港湾漁港整備課津波堤防整備室長）北勝也▽港湾空港局港湾漁港整備課津波堤防整備室長（道路局道路建設課副課長）竹中健二▽水産局資源管理課長（水産局水産振興課副課長）（水産局水産振興課主幹）岡畑拓男

退職（農林水産部水産局長）丸山清重▽退職（県土整備部港湾空港局長）加茂年彦

【兵庫県】

農政環境部長（農政環境部農林水産局長）藤澤崇夫▽農政環境部農林水産局長（洲本農林水産振興事務所長）寺尾俊弘▽農政環境部農林水産局水産課長（但馬水産事務所長）高木英男▽農政環境部農林水産局漁港課長（大阪湾広域臨海環境整備センター兵庫建設事務所長）今井猛▽洲本農林水産振興事務所長（農政環境部農林水産局水産課長）小林孝司▽但馬水産事務所長（農政環境部農林水産局水産課副課長）長島浩

【岡山県】

農林水産部水産課長（水産研究所長）菅野泰久▽農林水産部水産課総括参事（美作局建設部勝英地域工務課長）吉田誠克

【広島県】

土木建築局港湾振興課長（土木建築局港湾振興課ポートセールス担当監）岩田昌文▽西部建設事務所兼西部総務事務所次長（土木建築局港湾振興課長）村田栄治

【山口県】

農林水産部次長兼団体指導室長（農林水産部審議監・森林整備対策担当）野原弘幸▽農林水産部審議監・農業振興・流通・農山漁村女性企業育成担当（ふちうまやまぐち推進課長）中司祐典▽理事・水産振興担当（産業戦略部次長）山根信之▽水産振興課長（農林水産部策課調整監・企画調整班長）三浦忠▽農林総合技術センター所長（農林水産部次長）古賀孝▽土木建築部次長（審議監・水産振興担当）河村祐一▽下関水産振興局長（水産振興課長）矢尾宏志▽下関水産振興局次長兼漁港市場課長（教育庁高校教育課副課長）萩原耕太郎▽下関水産振興局次長兼水産課長（農林水産部水産振興課主幹・経営体育成班長・兼環境生活部生活衛生課勤務）鑪篤志▽美祢農林事務所次長（下関水産振興局次長兼漁港市場課長）小河謙治▽防府水産事務所長（下関水産振興局次長）片岡謙一郎▽防府水産事務所次長（防府水産事務所普及振興班主査）天社こずえ▽萩水産事務所長（防府水産事務所）岩政陽夫▽萩水産事務所次長兼総務課長（企業局総務課調整監・経営・技術・企画班事務所次長兼総務課長）中原重政▽岩国農林事務所次長（萩水産事務所）峯野彰夫▽柳井水産事務所長（水産研究センター内海研究部長）河村工▽水産研究センター所長（柳井水産事務所長）後藤敏郎

退職（農林水産部次長）山本俊之▽退職（農林水産部審議監・農山漁村女性企業育成担当）吉武和子▽退職（理事・水産・団体指導担当）中島均▽退職（下関水産振興局長）大嶋弘行▽退職（萩水産事務所長）濱田文夫

【愛媛県】

農林水産部水産局長（農林水産部水産局水産課長）佐伯裕▽農林水産部水産局水産課長（農林水産部水産局漁政課主幹）前原務▽県民環境部県民生活局長（農林水産部水産局長）飯尾智仁

【高知県】

水産振興部副部長・総括（水産振興部副部長）竹内真澄▽水産振興部副部長兼水産流通課長（水産振興部合併・流通支援課長）宮本猛▽水産振興部漁業振興課長（水産振興部漁業管理課長）岩崎健吾▽高知県東京事務所理事・所長（水産振興部副部長・総括）近藤雅宏▽水産試験場長（水産振興部漁業振興課長）三竹徹

【佐賀県】

退職（農林水産部理事）古賀俊光

【長崎県】

長崎県水産部長（水産庁増殖推進部海洋技術室長）坂本清一▽長崎県水産部参事監（水産庁漁港漁場整備部計画課長補佐）中村隆▽水産庁増殖推進部付兼内閣府技官（総合海洋政策推進事務局参事官・長崎県水産部長）熊谷徹▽水産庁防災漁村課長補佐・総括班担当（長崎県水産部参事監）横山純

【熊本県】

農林水産部水産局水産振興課長（天草広域本部農林水産部長）山田雅章▽農林水産部水産局漁港漁場整備課審議員（農林水産部水産局水産振興課審議員）中原康智▽農林水産部水産局長（農林水産部水産局水産振興課長補佐）永野茂▽農林水産部水産局水産振興課審議員（農林水産部団体支援課長補佐）堀田英一▽水産研究センター所長（水産研究センター審議員兼次長）中野平二▽天草広域本部農林水産部長（農林水産部水産局漁港漁場整備課長補佐）内布充

退職（農林水産部水産局長）平岡政宏▽退職（水産研究センター所長）平山泉

【大分県】

農林水産部審議監（中部振興局長）村井尚▽農林水産部漁港漁村整備課長（中津土木事務所次長）中村哲則▽農林水産振興課長（南部振興局農山漁村振興部長）景平真明

退職（農林水産部審議監）本庄新▽退職（農林水産部審議監兼漁港漁村整備課長）倉橋猛

【宮崎県】

漁村振興課漁港漁場整備室長（漁村振興課漁港整備対策監）押川定生

【鹿児島県】

商工労働水産部長（大隅地域振興局長）酒匂司▽商工労働水産部次長（商工労働水産部商工政策課長）五田嘉博▽商工労働水産部漁港漁場課長（商工労働水産部水産技術開発センター所長（商工労働水産部水産振興課長）織田康平

【沖縄県】

農林水産部水産課副参事（農林水産部漁港漁場課副参事）桃原聡▽農林水産部漁港漁場課副参事（東京事務所副参事）島袋進

漁港往来

自3月1日 至3月31日

3月15日（水）賀県、熊本県へ出張

富山県漁港漁場協会事務局長秋田廣成氏

3月24日（金）全国漁港漁場協会橋本会長は、佐港湾課長）上籠光治▽商工労働水産部水産振興課長（資源管理監・水産振興課）高橋宏▽PR・観光戦略部長（商工労働水産部長）西啓一郎▽大隅地域振興局長（商工労働水産部次長）堀之内健郎▽北薩地域振興局建設部長（商工労働水産部漁港漁場課長）印南義隆▽水産技術開発センター所長（商工労働水産部水産振興課長）織田康平

3月29日（水）兵庫県農政環境部農林水産局漁港課長金谷泰幸氏

水産土木建設技術センター講演会

（定時総会終了後）

開催案内

（一社）水産土木建設技術センター（宇賀神義宣理事長）は、6月21日（水）に東京都港区の三会堂ビル石垣記念ホールで第31回定時総会を開催し、例年通り総会終了後に、「魚の行動と養殖技術」というテーマで講演会を行う。

同センターは、過去3年間、海洋環境の変化に関する講演会を開催しており、世界的な海洋環境変化が水産資源の減少を招いている大きな原因の一つであることについて講演を行ってきた。

今年度は、講師に養殖学の専門家であり、魚の行動や栄養要求等について精力的な研究を行っている東京海洋大学学長の竹内俊郎氏。

講演の内容は、

・魚の行動に及ぼす微少重力の影響

・ブリ稚魚の行動に及ぼすドコサヘキサエン酸（DHA）の影響

・ヒラメ稚魚の摂餌行動に及ぼすタウリンの影響

・マグロ類の行動に影響を及ぼす水槽の模様

講演会は、定時総会終了後の午後3時過ぎ頃からを予定しており、参加費は無料。

漁港漁場新技術研究会 第2回技術報告会の開催

（一社）漁港漁場新技術研究会（橋本牧会長）は、7月14日（金）に北海道札幌市の北農健保会館会議室エルムで第2回技術報告会を開催する。

報告会は2部構成で、第1部では研究会の最近の研究の報告を行い、第2部では北海道に関連深い技術も含めた水産公共関連民間技術を紹介する。

【プログラム】

第1部：「再生可能エネルギーの導入と省エネルギー技術の活用」、「品質・衛生管理のための荷さばき所づくりQ&A」、「鋼構造物に関する保全対策の解説と事例」、「水産基盤整備用リサイクル技術ガイドブック」、「人工基質を用いた磯焼け対策」

第2部：「磯焼け対策技術（海藻カートリッジ、柱状礁、ウニプロテクター、環境活性コンクリート、植食性魚類の食害防御材）」など

講演会は13時30分から16時45分までを予定しており、参加費は無料。